

「東京真田町の会」会報

日本タボス

平成 11 年 12 月 25 日



天台宗

金繩山實相院の本堂

神亀二年（725年）僧行基法師の建立

坂上田村麻呂將軍東征祈願寺

（真田町・傍陽）

NO.

12

東京真田町の会の発展を願って

会長 三井芳郎



会員の皆様にはお変わりなくご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素は会の運営に格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

十月十日の総会に際し、百余名の会員の皆さんは関東一円より、真田町からは箱山町長さん

二十一世紀に向けて故郷は今

真田町長 箱山好猷



おなつかしい東京真田町の会の皆様お元気ですか。いつも故郷真田町のために、温かいご支援をいただきありがとうございます。町民一、八〇〇余名を代表して、心から御礼申し上げます。

目前に迫った二十一世紀に向け、皆様の故郷はどんな町になろうとしているのでしょうか。真田町は今、五つのスローガン

ほか大勢の皆さんが遠方よりご出席いただき、お陰さまで恒例の総会・懇親会が盛大に行われ会員相互とふるさと真田町の皆さんとも、心温まる交流と親睦を深めることが出来ました。心から感謝申し上げます。

箱山町長さん、合葉議長さんよりご丁寧なるご挨拶を戴き、真田町の現状と将来についてのお話を伺い、町の発展の様子を知ることが出来ました。

を掲げて町づくりを進めています。その一つは、「健康度日本一の町づくり」です。健康は、本人ばかりでなく、家族も町もみんなが幸せになる基本で、どんな高齢社会を迎えても、町民みんなが健康ではつらつとしていればなんの心配もありません。

そこで、日本型食事の復活と全町民が年令と体にあつた何らかの運動をすることによって、健康の保持増進を図ると共に、地域医療を充実し、健康・医療・福祉の連携による健康度日本一

本年も余すところ数日となり、二十世紀最後の年を迎えようとしております。世界の各地では内戦等による難民、貧困が頻発しており、日本を含めたアジア諸国ではバブル崩壊後の経済再建に苦しんでおります。一日も早く平和で豊かな時代となるよう念願して止みません。

これから二、三十年の間に科学や工業技術のさらなる進歩、情報・通信の開発にもめざましい進展が期待できるものと楽しみにしております。しかし一方では、環境、人口、食料、エネルギー等々の大きな課題も抱える町づくりを進めます。

その二は、「日本のオアシスをめざした町づくり」です。美しい自然と多くの史蹟に恵まれた真田町全体を、自然公園、農林公園といえるような町にし、その中で町民がうるおいをもつて生活し、都会のつかれた方々をいやしてあげられるような日本のオアシスをめざした町をつくらうとして、今「森と緑やすらぎ空間構想」の行動計画を進めています。

その三は、「教育の盛んな町づくり」です。私達は今、何を ook いても次の時代を担う子供達を心身共に健やかでたくましい子供達に育てることが大切です。そのため、町は子育て環境並び

ることになるでしょう。

「論語」の第一節の中に「朋(友)あり遠方より來たる、また樂しからずや」とあります。この孔子の言葉は二千五百年を経た今日でも通用しており、私達も時々、この感動を味わっております。いかに文明が進歩しても、科学が進歩しても、私達は常に純粹で豊かな気持ちをもって友と語り、ふるさとを思い慕う心は変わることはないでしょう。

東京真田町の会は設立十二年目に入りました。今年はこれ迄の活動の他に、会員を増やすために、首都圏に在住で、特に上に教育環境を整えると共に、家庭と地域そして学校が一体となつて幼児から高校生までの一貫した心の教育をするための組織づくりを検討しています。

その四は、「農業の盛んな町づくり」です。町の隅々まできれいに耕かされていた真田町も今は雑草の繁った荒廃農地が目立っています。しかし、二〇二〇年頃には、世界的な食料恐慌が起ころと言われています。その時、飢えなくすむ農業政策が今こそ必要です。農家が希望と喜びを持って働ける、農業の盛んな町づくりを進めています。

その五は、「思いやりのあふれる町づくり」です。福祉の基

京されて十五年位までの方々に新会員の加入を薦めたく、新しい計画を準備しております。そして会の活性化とより一層楽しい会にして行きたいと考えております。

新しい年も、会員相互の親睦と、ふるさと真田町との交流増進のために多くの行事を計画しておりますので会員各位のご協力とご参加をお願いいたします。

最後となりましたが、会員の皆様のご健康をお祈り申し上げますと共に真田町の皆様のご健康と町の発展を心より祈念申し上げます。

若い人は高齢者を、高齢者は若い人を、健康者は障害者を、障害者は健康者を、そして全町民がお互いに思いやることによって、温かい豊かな心が通い合い、温かいさっぱり、笑顔いっぱい、の安心して暮らせる真田町をつくらうとまいります。

以上五つのスローガンを町民も行政も議会も一丸となつて推進し、「日本一のすばらしい町」と言われるような真田町をつくり、次の世代に手渡ししてまいりたいと思っておりますので、皆様の一層のご支援をお願い申し上げますと共に、東京真田町の会のおすすめの発展と会員皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げます。ごあいさつといたします。

日本ダボス発刊に寄せて



真田町議会議長

合葉 啓

日本ダボス第十二号発刊にあたり議會を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本年十月十日開催の総会には議員改選後初の貴会の総会と言うことで私共議員全員がお招きを受け皆様と親しく、そして懐かしく懇談し、親交を深めさせていただき大変有意義な一日を過ごさせて頂きました。

戦前、戦後の厳しい情勢下を郷里を離れ日本の再建の為、郷土の名誉を守るため献身的にご努力をいただいた皆様方、そしてまた大志を抱いて政治、経済の中心地で活躍をされておる皆様方と「ふるさと」の合唱で手をつなぎながら真田の郷を共に唄んだ歌声が今も私の耳に残っており東京真田町の会の益々の発展を祈らざるを得ません。

時代の変革は目まぐるしいものがございます。東京と真田も高速道、新幹線の開通と共に時間的に大変近くなりました。先日も貴会の親睦ゴルフ会にお誘いを受け、こちらを早朝に

出発しプレーをさせて頂いた。次の日の仕事に差しさわりの事のない時間に帰宅することが出来るという今迄は考えられなかった様な行動が可能になって来た訳であります。

十月三十日には上信越道の先線が全面開通しました。新鮮な日本海の魚介類が手軽に入手出来たり、また、成田空港まで行かず、新潟空港を利用した旅行が増えたりと、長野県も大きく変化が予想されておる訳であります。

交通機関の発達と共に真田町が単なる通過町とならない為に行政といたしましても時代のニーズを的確に捕らえた先見覚で町おこしに取り組まなければならぬ事と痛感いたしております。

経済の低成長化と併せ国民の健康指向の中で、自然とのふれ合いが大きく見直されて来ております。

昨今、真田町は自然と歴史を売り物にした町づくりの為に、本年は菅平にスポーツランドがオープンいたしました。本施設はラグビーのメッカとしての菅

平をより一層PRすることはもとより、サッカー熱の受入の場所や陸上競技場等による準高所トレーニングの場所として、真田町の観光の目玉とし本施設を核に他産業との連結等を図るべく施策を展開しております。

時代の流れのスピードに乗り遅れることのないよう、そして山紫水明の真田町のこの地の自然を守り自然と共生できる特色ある町づくりに議會といたしましても真剣に取り組んでおるところでございます。

貴会の皆様の外から見た角度を変えたご助言、ご教示を賜り皆様と共に誇れる郷土「さなだ町」づくりに努力する所存でございます。

最後になりましたが会発足以来、会の発展の為に大変ご尽力された小林前会長さんを始め、役員の方々に信心なる敬意と感謝を申し上げますと共に、三井新会長さんを中心に愈々の貴会のご発展と会員の皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げます。



長寿会の活動

真田町長寿会会長 松井良一

東に清らかな烏帽子の峰を指呼の間に臨み、西に神川の清流を見下ろす豊かな自然に囲まれたこの信州真田町から一言ご挨拶申し上げます。

会員皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。東京真田町の会も結成十二年目を迎えられ、ますます友好を深められ誠に喜ばしい事と思っております。今後もお元気で過ごされますようご祈念申し上げます。

さて、真田町長寿会長として事業の一旦を記述して責めをおきたいと思っております。

町長さんは、真田町を「健康度日本一」をめざすべく努力なされていきます。来たるべき二十世紀の少子化、高齢化社会にむけて、地域の高齢者が生き甲斐と健康作りのため、老人クラブの仲間作りを基盤に相互に支え合い、社会に貢献するクラブ作りにも励むことも一方で求められていた昨今です。そこで現況、状況を少し申し上げます。

昨年度の全国平均寿命は男性七七、一六才、女性は八四、〇一才。長野県は男性七八、六七才、女性は八四、八六才となり、高齢化率は二〇、九%です。

四月現在、真田町の六〇才以上の人口は三、二四九名で長寿会会員数は二、五八四名、入会率は七九、八%です。平成十一年度人口は一、七七〇人、内六五才以上は二、六四一人、高齢化率二二、四八%となっております。

年間事業計画に基づいて、高齢者の方々はそれぞれの部門で活躍されています。

活動の一旦を紹介しますと、九月十五日敬老の日には第四〇回真田町長寿会総会を社会福祉協議会後援により開催しましたところ約六〇〇名が参加し盛大に出来ました。

九月二十四日、第二十六回高齢者体育祭には七八六名が参加し、晴れわたる秋空のもとで、老人の方々が力の限り頑張つて、汗と笑顔の爽やかな交わりを深めながらの競技を終えました。

そのほか、マレットゴルフ・ゲートボール・ダンス教室・囲碁・将棋等ふれあい伝承広場（各小学校）、健康づくり、生き甲斐づくりにと精を出し頑張っております。

最後になりましたが、東京真田町の会の皆様もお身体をおいといなされ、なお一層の長寿を重ねられまして、遠方より真田町のさらなる発展を見守って下さいますようお願い申し上げます。祝意と致します。

故郷



柳沢喜三郎 (萩区出身)

た三十年の生活は片時も忘れた事はなく、友人の誰彼や、御交誼を戴いた人達の消息を聞くにつけても、故郷を偲び皆さんのご健勝を祈る毎日です。

恒例の東京真田町会が十月十日東京市ケ谷の私学会館で開催された。

東京周辺の真田町出身者は百名余り、町から箱山町長始め大勢の方々が、遠路わざわざ参加下され盛大に而もなごやかに実施された。

町長からは真田町の現況や、これからの施政方針等の説明を聞き大変なつかしく、又、町の発展の有様がわかり有意義な一日でした。

故郷を定義付けて、島崎藤村は「心につながる故郷、血につながる故郷、言葉につながる故郷」と云っている。又、岩手県出身の石川啄木は、故郷の言葉(訛り)を聞きたいばかりに上野駅に向いたと聞く。

そんな事を思い出し、今日は何と幸福な一日だろう、町長を始め大勢の郷里の皆さん、在京の皆さんが一堂に会することの機会に感謝。

私事で恐縮ですが、郷里を出てから四十五年、村で生れ育つ

故郷を恋い、故郷を思う心が、すべての原点であり出発点。これが愛郷心となり、延いては愛国心になる事を確信しています。

唐突になりますが、最近の所感。私達の年代は満州事変、支那事変、大東亜戦争で、友人知人が多く出征し戦死しました。

若い頃から竹馬の友として、郷里の山川で楽しみ遊んだ数多くの知人が国の為生命を捧げ靖国神社に祀られています。

今日の繁栄はこれらの人々の犠牲の上に成立している事を忘れてはいけません。

何故にこの立派な神社に為政者が参拝されるのをためらうのだろうか、遺族扶助料を支給しているからだけでは解決出来ない大問題と思います。

鮭は四年経つと生れた川に帰ると聞いています。諸般の事情により帰らないで他出している人達も終生故郷を思い、其処に住む皆さんの弥栄を申し上げるでしょう。

真田町のホームページを

見ていますか

深町 共栄 (田中出身)



や郵便局へリンクがはられています。

インターネットの発達によって、限られた地域で価値のすべてが定められる時代は過ぎました。そして情報が瞬時に世界を飛び交うことにより、真田町に居ながらにして世界が知れる一方、世界に向けて情報発進ができ、グローバルな価値判断が求められる時代です。

東京と真田町が新幹線や高速道路で二、三時間で結ばれ「故郷は遠きにありて思うもの」のイメージが薄くなりました。しかしいざ車や列車で訪れようと思っても、一日費やし、経費もばかになりません。そこでインターネットで町のホームページを見てはいかがでしょう。ホームページは関係者の努力で大変充実しています。

さて、ホームページは真田氏発祥の里をうたい文句にオープンし、そこには祭り、温泉、役所サービス、食生活、ゴミの出し方などの生活習慣、名所、旧跡、産業等の町の生きた情報があります。それに加えて中学校

世界が見えるのです。

今年の夏、村民がインターネットで結ばれた電脳村と呼ばれる富山県山田村を小淵総理が訪問して話題となりました。

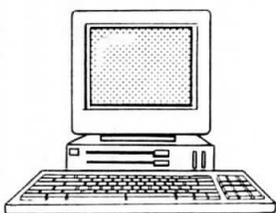
山田村のように全家庭が電脳化される社会はもう間近です。

これから長、傍陽、本原の小学校、菅平小中学校のホームページが予定されていますが、町のホームページには地区のコーナーを加えられたらいいかでしょうか。

さらに「東京真田町の会」のコーナーもお願いします。会合やイベントの情報を身近に知れて会の活性化が図れます。

ホームページの維持管理は決して容易な事ではありませんが、マルチメディア時代における技術の先取りが将来町の発展に必ず貢献するものと信じております。

どうか今後とも町の関係者の皆様による尚一層のご努力を期待しております。



この原稿をまとめたホームページのURLは

<http://www.town.sanada.nagano.jp/>

東京真田町の友へ



真田町議会副議長

佐藤 公至

期史と伝統あるスポーツ観光地として菅平はいよいよの発展が出来ることと思われず。

今年も真田町は豊作だった、稔りの秋も終わりを告げようとしております。東京真田町の会の皆様には益々ご壮健にて活躍のことと拝察致し心よりお喜び申し上げます。

十月十日の総会には議会全員のお招きを頂きまして誠にありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

二十世紀も終わろうとしており、地方の自治体も新しい二十世紀に向かって地方自治の確立を目指そうとしている現在、経済状況はバブル崩壊後依然としてその影響を解消できずにいまだ景気の低迷の有様を示しております。

そんな厳しい中にも近年の社会の変革に伴い真田町も反映されつつあり生活環境も転換してまいりました。間もなく全町下水道水洗化され生活基盤もきちんと整備されます。

今年も菅平サブパークスポーツランドも完成して観光客も増え大盛況でした。昭和の初

町全体では平成十年からの第四次長期振興計画の基本構想に基づき、具体化については将来の真田町を展望して鋭意研究をしております、新しい町づくりに懸命の努力をしております。

昨年、長野オリンピックにちなみ新幹線と上信越自動車道が開通し高速交通網もきちんと整備され、東京圏も庭先のようになりました。

これからは「地方の時代」、真田町の教育、文化、歴史、産業、また気象風土を活かし自立性及び自主性を高め、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現を図って行かなければならないと考えます。

上田から伊勢山を越え川久保橋を渡ると烏帽子、根子岳、四阿山麓のふところにつつまれた真田氏発祥の郷、真田の風がそつとほほに当たるとき豊かな自然に恵まれたふるさとを後世に遺したい思いです。

終わりに東京真田町の会の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

そばまつり



真田町婦人会長

清水 淑江

つりは盛況そのものでした。

町長さんを先頭に、振興公社や実行委員会の皆さんが走り回るにぎやかさでした。

久しぶりに雨が降り、夕方大きな虹がかかった翌日の十一月十三日と続いて十四日の両日、「真田の里新そばまつり」が開かれました。

会場はふれあいさなだ館一帯です。前日の雨ではこりはきれいに洗い落とされ、抜けるような青空のもと行われた新そばまつり。

そば打ち名人の女性グループが用意した手打ちそばは、来場者の「新そばはやっぱりおいしいね」の声と共に、とぶように売れていました。地元産の新そば粉で打たれ、冷たいおいしい水で冷やされたそばは殊の外おいしく感じました。

そしてもう一つ、そばと共に

昨年から登場し好評のものに「そばすいとん」があります。ごぼうのささがき、山鳥の肉（鶏肉かな？）、しいたけをメインにそばのすいとんが入っています。ごぼうと山鳥の肉の相性はすばらしく、思わず「おいしい！」と声が出てしまう、そしてお腹の真ん中まであったまるおいしさでした。

会場にはそのほか地元産の新鮮な野菜や花、りんご、それにきのこの原木なども並べられ大変な賑わいでした。

東京真田町の会の皆さん、来年はぜひ新そばの味を楽しみにおいで下さいませんか、お待ちしております。

「真のイコールパートナーとして」 支え合う社会の実現に向けて

真田町情報政策課長 芳沢 孝夫

我が国においては、日本国憲法に個人の尊重と法の下での平等がうたわれ、男女平等の実現に向けた様々な取り組みが、国際社会における取組とも連動しながら着実に進められてきました。が、なお一層の努力が必要とされています。

憲法制定以来半世紀を経た平成八年、内閣総理大臣の諮問に對し、男女共同参画審議会は、「男女共同参画ビジョン―二一世紀の新たな価値の創造―と

題する答申の冒頭において、「男女共同参画―それは、人権尊重の理念を社会に深く根付かせ、真の男女平等の達しを目指すものである」と述べました。

戦後半世紀にわたって取り組んできた個人の尊重と男女平等の実現という新たな概念の下に、二一世紀に向けて取り組まなければならない最重要課題として、改めて提起されました。

現在、少子、高齢化、経済の

成熟化、国際化、情報化の急速な進展により、経済、社会の大きな変革期を迎えています。これらの変化に対応し、将来にわたって豊かで安心できる社会を築く上で男女共同参画の実現が欠くことのできない要件であることが次第に社会の共通認識となりつつあります。

町においても、昨年八月に「さなだ女性会議」が設立され、女性行政を総合的、効果的に推進するうえで、全ての施策の中に女性問題を位置づけ展開していくため、町といっしょになってプラン策定が進められております。

第十二回総会報告

事務局長 山口元彦
(横沢出身)

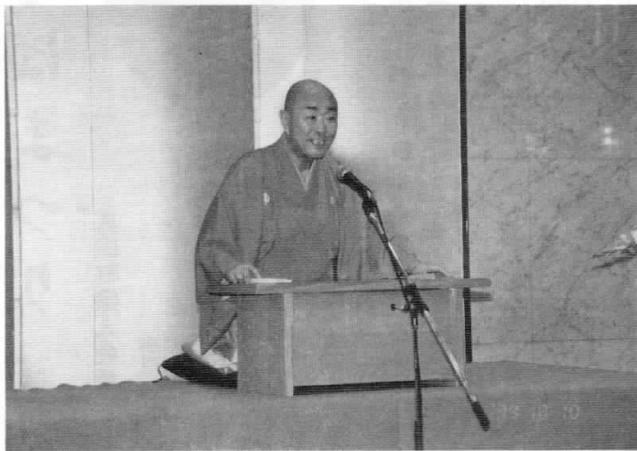


十月十日(日)、第十二回総会が開かれました。体育の日と重なったこともあり、出席会員数は少なめの九十三名でした。真田町からは、町長、議長を始め、議員、長寿会会長、区長会会長、情報政策課の職員の方々等二十二名の皆さんがおいで下さいました。

総会は、荒木副会長の司会のもと、「信濃の国」の斉唱、三井会長、箱山町長のご挨拶後、会務・会計・監査報告及び新年度事業計画と予算が満場一致で承認されました。

会長は、就任以来、皆様との連絡を密にし楽しい会を作るため、全理事が協力して、観劇会、ゴルフ会、マレットゴルフ会など気楽に参加できる行事を考え、また、「日本ダボス」のほか「しらかば通信」を発行するなどの努力をしてきたことを報告し、そのような事業を行うことができるのも町から補助金をいただいているおかげだと、町にお礼を述べました。

町長の挨拶では、「健康度日本一」「町全体を公園に」「教育を盛んに」「農業を盛んに」「思いやりあふれる」という五つの目標をたてて町づくりを進め



ていることが紹介され、東京真田町の会の皆様にもご協力をお願いしたいとお話がありました。

アトラクションは、講師の一龍齋貞水師匠を迎え、関谷監事による師匠の紹介につづいて、「真田三代記」を口演してもらいました。

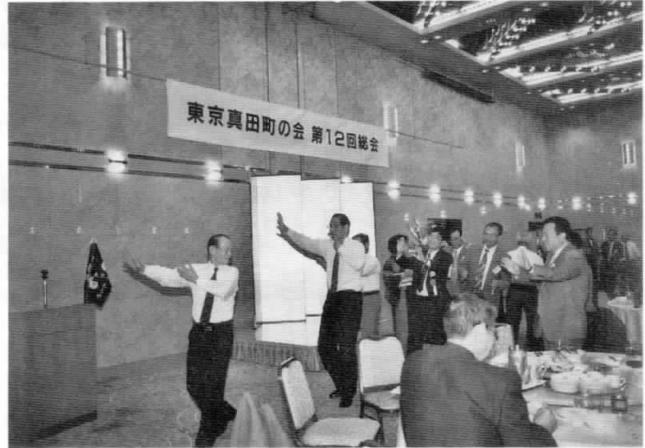
「三代記」を全部口演すれば三日もかかるこのことで、この日は幸村の活躍、たとえば、徳川方の監視をくぐって九度山を抜け出した話、家康の政略にどう対抗したか、大阪の陣でいかに武勇を示したかなどを中心に、父昌幸が軍資金集めで素晴らしい知恵を働かせた話や、息子大助が使者として家康のもとに赴いた際にすごく剛胆に振る舞った逸話などを織り込んだもので、机をバンバン叩きながらの熱演に、固唾を飲んで聞き入りました。

懇親会は、中島副会長と小林理事の司会で、清水顧問の歓迎の挨拶、来賓紹介の後、合業議長の音頭で乾杯し、旧友、知人同士で食事をしながら話に花を咲かせました。

そして、昨年同様、会長、町長を先頭に真田郷輪踊り、浪漫・爛漫さなだまちを踊り、童謡ふるさとをみんなですみずみ合歌をして故郷を偲びました。

柳沢喜三郎会員及び大久保恒俊区長、会長の音頭で万歳を三唱し、塩沢副会長の閉会挨拶を受けて終宴となりました。

今年も町からりんごのお土産をいただき、「来年もまたね」と言い合いつつ帰途につきました。以上



第九回ふるさと訪問

清水 清晴 (中横道出身)



で舞田の信号手前右側に、三井会長さんの母上の生家を車窓より拝見する。

別所では北向観音に参拝。二年参りの時は百メートルくらいの参道が人、人、人で三十分もかかった事を思い出した。

五月十日発行の「しらかば通信」に八月七日第十五回真田まつりに呼応して、ふるさと訪問を実施するとの記事を拝見し早速参加を申し込む。

八月七日午前十時三十分JR上田別所口に集合、三井会長他十五名が車三台に分乗し塩田の生島足島神社へ、樹齢八百年余りの榎にあやかり長寿祈念参拝、能舞台等境内を見学。

次の見学先の別所へ向う道筋



など、お堂・塔・老樹を見学。数年前に建立された、傍陽出身の戦没者の碑に、私の兄、従兄弟の名、私と同年兵の三井正人君(陸軍中尉)は昭和二十年七月

午後にはふるさと訪問で初めてのそばを味わう。夕飯は冷たいビールで喉をうるおし、信濃では月と仏との傍陽へ。

負けるな一茶

ここにあり

「金繩山実相院」

昔、松代の蛙と金繩の蛙が喉を競ったカワズ合戦の伝説の池一茶の句碑

やせ蛙

ここにある

レイテ島で戦死された。その他に、仏印(ベトナム)まで一緒に行き二十年七月十八日ベトナムのディマンで戦死された三井磨知雄君・ビルマ作戦で戦死された橋詰善嘉君が祀られておられご冥福を祈った。

続いて、昔は歩いてしか行けなかった峰山へ、今は「傍陽ふるさと公園」になっていて車で十分位で到着。昔の面影は少しも見る事が出来なかったが、マレットゴルフ場もあり綺麗に整備されていた。心地よい涼しい風に吹かれながら休憩場ではしくつろぐ。

次は真田の長谷寺へ、最初に真田昌幸公・幸隆公・幸隆公夫人のお墓に参拝、大久保理事の取り計らいで、宮下住職さんより寺の歴史についてのお話しを拝聴する。

昔、種月庵(創立年不詳)という無住の小寺があり、真田幸隆公が天文十六年に群馬県安中市上後閑の長源寺より伝為晃運和尚を招し一字を建立「真田山種月院長谷寺」と号したのが最初です。

本堂を拝観した後、夕食会の席「森林」に到着、ここより三名が参加し総勢十八名となる。

五時より、ご多用中の、箱山町長・唐沢助役・芳沢情報政策課長・池田商工会会長のご出席をいただき、三井会長の挨拶、箱山町長の歓迎の挨拶と町の行政の報告を伺う。

唐沢助役の乾杯と池田会長の挨拶、三井会長より参加者の紹介をし約一時間の会食、芳沢課長より東京真田町の会の発展を祈念して万歳を、荒木副会長の「一本締め」などで会食が終わり、続いて真田まつり会場「真田町運動公園」へ向う。

会場には老若男女が大勢集まり賑わっていた、まもなくすると大民謡流しが始まり会員も町民に混じって、見様見真似で踊りに参加。真田鉄砲隊の演技、鼓膜を破るような大音響。花火大会などを見たあと、菅平で一泊。会場で明日のサニアパークでのマレットゴルフの予約を合業議長さんにとっていた。

八日朝、柴田理事さんの実家よりレタスをお土産に沢山頂へ。感謝、感謝。大変美味しくいただきました。

マレットゴルフ場へ直行、管理センターの職員さんに快く迎えられ、中には知人がおられて話はずむ。

用具を借りて九時頃より二時間ほど十八ホールをワイワイ、キヤアキヤアとにぎやかに楽しく競技をした。

なかでも、十二番ホールはボールがネットを越えると、コロコロと百メートルぐらい先までもころげる。前の組の塩沢さんのボールが場外へ、追掛ける姿、真剣な顔・・・

初挑戦の方も楽しく、面白く遊ばせて頂きました。

合業議長さんありがとうございました。

サニアパーク菅平は資料によりますと、多目的グラウンド五面と陸上競技場一面、総面積十八・五ヘクタール(三〇〇m×五〇〇m)で四阿山、根子岳やダボスが見える絶好の場所でした。

午前十一時頃全行程を無事終了し解散帰路につきました。好天に恵まれた二日間でした。



箱山町長さん、唐沢助役さん他町の関係者の皆さん有難うございました。厚く御礼申し上げます。

花に感謝

中島正江 (戸沢出身)

私の不注意で去年末より体調をくずし一年近くになりましたが、何よりも私をなぐさめてくれたのが家族、友人とお花でした。

近くの小学校の片端にひっそりと咲くおしろい花、五センチメートルにみたない小さなのを三本もらいうけ、私の家の私道に植えました。

いつも雑草ぬきばかりでしたが、今年はそのおしろい花の種が出来たらまた植えてを繰り返して、手入れをしたところ、六月頃より毎日々々、ピンク、赤、白、しほりの花弁の花が見事に咲き続け十一月いっぱい楽しみました。

体調が悪かったのですが、朝に夕にお花と話をしながら水をやり草取りをして、日中は四〇度近くにもなるのでしおれるのではと心配しながら、体を休めて横になっていました。

気をまぎらわせるため、毎日手入れで花を楽しみました。もう、寒くなって来たので、片づけをしなければなりません。ほんとうに感謝をして又来年も会いましょうと独り言を云っております。お陰さまで体調はほぼ元に回復しつつあります。

かねがね、田舎土手に咲いて

いた「あまな」と呼んでいた、黄色い日光キスゲに似ている花がほしくて、清水顧問にたずねたところ、俺の家にあるよと、株分けしてもらいそれも一生懸命一輪、二輪と花を咲かせました。

先日、清水顧問にお会いしたら、中島さんに株分けをしたらおれの家のはあまり良く咲かなかったなんて云ってましたので、今度は、私が株を大きくしてお返しをしましょう。

真田町でも「お花の町」づくりに一生懸命に取り組み、区、個人とコンクールに向けて頑張っているようです。

石舟のコスモスやつくし団地のマリーゴールド、サルビア等とてもきれいです。他の区でも特徴のある花壇を造っているようです。

田舎に帰るといつも庭にあるマツバボタンや芝桜等ももらって来ては小さな我が家の庭に植えています。

各部の活動報告

☆ふるさと訪問

清水さんのふるさと訪問記のとおりです。次年度も計画いたしますので奮ってご参加下さい。

記 荻原敬治

☆文化

今年の観劇会は、皆さんのご希望の一番多かった明治座の「梅沢富男魅力の全て」を八月二十一日夜の部に五十名が集まり楽しみました。

総会には、アトラクションを初めての催し物にしたいとの理事会の意向を受け、ふるさとにちなんだ「真田三代記」を講談で一龍齋貞水師匠に口演してもらいました。

担当 関谷義久・塚田恒雄・鈴木邦子

記 関谷義久

☆スポーツ

※親睦ゴルフ会

十月八日(月)都下八王子市の八王子カントリーにて親睦ゴルフ会を開催いたしました。

当初、参加者は二十人程で行う予定でしたが、月曜日とあって四人ほど参加できなくなり、十六名(四組)で行いました。当ゴルフ場は八王子市の高い丘にあり市内が一望できる名

門ゴルフ場です。

当日は天候に恵まれてとても楽しい会となりました。

真田町からも三名が参加して頂きました。当日は真田町を早朝に出発しゴルフ場に七時過ぎには到着、参加者は、東京が日帰り出来る身近な所と感じたそうです。

当会での初参加者は堀内寅次さん、佐藤宏次さんの二名でした。当日のスコアは八十台から百三十台でした。

今後も気楽に参加出来る会にするよう努力致しますので、スコア等気にせず一人でも多くのご参加下さいますようお願いしております。また、ご意見等賜りたく思いますのでよろしくお願ひ致します。

担当 荻原敬治・堀内 福

記 荻原敬治

※マレットゴルフ会

今年五月に第一回大会を開催したところ十四名の参加者があり、ほとんどの方が初めてとあって、ボールが思うように転がらず、四苦八苦しながら楽しく、なごやかに終了しました。

これは大変楽しい遊びであるので時々やりたいとの声も出ましたが、皆さんに知って頂いてからと考え、しらかは通信の発行後と決めました。

しらかは通信2号で第二回目のご案内をしたところ、新座市在住の布施さん、滝沢さん、持田さんから早々に申し込みがあり、第一回に参加された人達に都合がつかない方が大勢出たが最終的に十四名となった。

十月十三日(土) 今回も天候に恵まれて、楽しく終わり、あと車座になって田舎言葉を交えて談笑しました。

参加者(あいうえお順・敬称略) 荒木孝一・荻原敬治・岸 俊子・小林 金・清水清晴・滝沢けさ子・武田守央・中島正江・布施京子・堀内 福 夫妻・持田みさ子・大久保治夫 夫妻

尚、ふるさと訪問の時に、菅平サニアパークで十五名の参加の会を第二回とし、今回は第三回とすることになりました。今回は五月頃に計画したいと考えております。ご案内はしらかは通信3号でお知らせします。ご期待ください。

記 大久保治夫

岸 俊子(一之瀬・大日向)

マレットゴルフ大会ではお世話になりました。その後も珍プレーを思い出して、また楽しんでおります。

同郷ということだけで初めてお会いした方とも親しくお話が出来ました。また計画をして下さい、楽しみにしております。



マントゴルフに初挑戦

清水清晴 (中横道出身)

五月十日発行の「しらかば通信」第一号に、マレットゴルフ大会を五月二十九日(土)新座市野火止コースで開催するとの記事を拝見し参加したいと考えたところ、大久保理事より電話があり、「初めてであるがよいか?」「大丈夫です」との返事で、参加を申し込む。

当日、JR登戸より府中本町駅で武蔵野線に乗り換えて新座駅に下車(所要時間四十五分)。

誰もいない、ゴルフ場はわからない、困っていたら佐藤さんが見え、柴田さん夫妻・小林さんが到着。続いて参加者が着き、三井会長・荒木副会長が着き総勢十二名。

駅から歩いて六、七分のところ、栗林の中に設定された、野火止ゴルフコースへ案内された。

私は三組で佐藤さん、小林さんの三名、渡されたスコアカードには、ホール毎に、何m・パー何点と記されていた。

我がチームは六番ホールから、六〇mでパーは五となっている所から挑戦したが、なかなか難しい、私は十三も打ってしまった下手くそ...それでも、八番ホール十九m



パー三をホールインワンをして汚名を挽回した。

十時半頃より始めて十二時過ぎ頃終了した、私の成績はパー七十二のところ九〇、初めてにしてはまあまあか。

今年度は木陰でビールやお酒でのを潤しながら昼食会兼反省会、午後三時ごろ現地において解散、楽しい一時でした。

帰りには大久保さんのお友達の小林新座小学校前校長さんより新鮮なトマトのお土産を頂きました。校長先生有難うございました。厚くお礼申し上げます。参加者(順不同)

三井芳郎・荒木孝一・小林正子・鈴木邦子・武田守央・佐藤ムネ子・岸俊子・大久保治夫夫妻・柴田小夜子夫妻・清水清晴

菅平の想い出

小林孝雄 (曲尾出身)

毎年八月の夏休みには、三日間を菅平で憩うのが我が家の年中行事の一つとなっている。

今年には長男の家庭に、五月二十六日次男が生まれたが、未熟児のため菅平に連れていけるかどうか迷った。この児が我が家の六人目の孫で、小学校六年生を筆頭に、小学校四年生、幼稚園二人、来年幼稚園入園予定一人と全員男ばかりという一族である。

昼は主人達はゴルフ、母親と孫達は高原で蝶やトンボを追いかけて、夜は持参の花火で楽しむという、特に孫達は毎年この日を待ち望んでいる。このため、長男一家が参加できるかどうかは長女と次女一家にとっても重大感心事であった。

八月に入って、長男から連絡があり、医者から大丈夫という診断があった由で、予定どおり四家族十四人の菅平行きが決まった。

八月十三日(土)午後それぞれ車で全員無事菅平に到着、孫達は再会を喜び大はしゃぎとなった。しかし、やんぬるかな前線が停滞していて天気は雨、しかも一週間は雨との予報で一同がっかり。今まではこの時期

いつも晴天に恵まれ、根子、四阿の高原を走り回り、高原の爽やかな空気に全身を洗われる想いであった。

そこで己むを得ず十四日(土)は、午前には上田市中央に開館した「池波正太郎真田太平記館」の見学、午後は「ふれあいさなだ館」で遊ぶこととした。「ふれあいさなだ館」は、実は初めての訪問であったがお盆休みとあってその賑わいに驚いた。

孫達は皆水泳パンツを用意していたので、全員プールで楽しく遊び、親達は入浴で疲れを癒した。心配していた六番目の孫も携帯用の籠の中でよく眠り、よくミルクを飲んで皆を安心させてくれた。私の血を承けてか孫達はそばが大好きとあって、風呂、プールの後信州のそばに舌鼓を打った。「ふれあいさなだ館」での入浴は、全く雨のお陰で、ふるさとの皆さんが大勢寛ぐ様子に接し、この建設に関係した町の皆さんに、心から感謝した次第である。

十五日(日)は、午前信綱寺にある墓に参り、丁度雨も止んだので孫達は古城緑地公園で遊び、途中昼食を最後



にそれぞれの車で、小諸或いは軽井沢に向い、その夜と翌日無事帰宅した。

菅平の雨の想い出も、忘れ得ない出来事として、いつ迄も記憶に残ることであろう。

傍陽小学校四年生の頃であったろうか、遠足で大倉から菅平に行った時、頂上から眼前に広がる菅平高原の光景に圧倒された想い出が、私を菅平に引きつける契機となった。

独身時代は年末年始をスキーで菅平に、また上中四年の時、開墾実習で一週間菅平に合宿したこと等、四季を通じて菅平の想い出は数限りない。

菅平は真田町を代表する自然の宝庫であり、その雄大な自然は憩う人に恵みと力とを与えてくれる。菅平の想い出は、いつ迄も私共の記憶のなかに生き続けるであろう。

回想



柳沢 實 (萩区出身)

歌集を自費出版され私はこれを戴いた数少ない教え子の一人である。

先生は傍陽小在職中暫らく軍籍にあった、この空籍を埋められたのが小池先生である。

小池先生との想出も沢山あるが文字にする余白がないのが残念だ。先生は傍陽小の外、菅平小学校でも教職に就かれまして、菅平の皆様はご存じと思います。

その後小池先生は「上田小泉誌」刊行主任として活躍、それよりも何よりも現在は私達「真田町誌」編集委員、歴史部長として大活躍されております。真田町の皆様には既にご存じのとおりです。今も新編の編纂中で、毎年春頃手許に届くのが楽しみですである。

次に学友数名の人達にご登場戴こう、私は故あって昭和二十六年一家を挙げて住居を東京に移した。この時何かと暖かい手を差し伸べ心の支えになってくれたのが堀内製材所二男保男君、当会会員で川崎市に住まい自ら業を起し、大きく財を成した級友である。今も当時を偲ぶとき胸が熱くなる。

中組区出身の飯嶋力君、彼は当時の鉄道省に入り、一機関手

私は私的にも先生には大変お世話戴いた、折りにふれて学友とお宅を訪れると、満面に笑みを浮かべ喜んでくれた。

後年、私が妻を伴いお邪魔した時など病で足がご不自由にもかわからず、車で信州新町の美術館をご案内頂いた。

又、平成五年には随筆集、短

から戦後労働運動に身を投じ活躍し、日本社会党長野県本部書記長を歴任したそのスケールの大きさは学友中でも抜きん出ていて人脈の広さも別格である。

岡保区三井醸造が生家の三井貞二郎君、容貌の良さと爽やかさで説得力のある話術は同級会でも如何なく発揮、私達学友にとつて欠かせない存在で今でも何かと世話になることが多い。彼は長野県酒販会社の上田支店長を歴任している。

さて、父を幼くして失った私は村人足と云われる地区の共同作業にも結構でたものだ、それは道普請であつたり川普請であつたり、現在でもこの様な制度が残っているだろうか？

川普請は別称「堰揚げ」とも云い農業用、生活用水として本流より取水された用水路で、道普請も大体生活用水路の整備であつた。

私の生まれた早稲田は萩区の飛び地で曲尾区に隣接し冠婚葬祭等は行政区の枠を越えたお互いの交流があつた。私も曲尾区のある人の柩を担いだこともある。又、洗馬川より取水した用水路に水車小屋があり早稲田の五軒組と曲尾区の青木姓、小林姓数軒が共同出資して利用管理していた。

この仲間の小林清志氏は私達東京真田町の会前会長の小林孝

雄君の尊父である。この前会長小林君も私の学友であり「東京真田町の会」設立に他の役員の皆様と真田町の皆様方がご尽力され、初代会長に学友小林くんが選ばれたことを心から誇らしく思う。

私が会報日本ダボスを通じ会員約六百余名、ふるさと真田町約三千五百世帯の皆様にも数多くのメッセージの発信をさせて頂きましたのも会があつたればこそで感謝の気持で一杯です。

話は水車に戻りますが、水車内の諸道具等の整備は春と秋仲間が総出で共同作業となる、打ち上げは当番制で宴の席に変わる、私も時にはこの作業に参加し小林君の父君清志氏と宴席を共にしたことがある。

私には級友で忘れてはならない女性が居る、その方は大庭区出身の小山みき子さん(旧姓内海)である。

私は数年前心臓に欠陥が生じこれが時に予告もなくストライキを繰り返し、自製の効かぬ我が心臓や如何にせんこんな思いですが。

私の病状を知る彼女は同級会等で逢えば必ず私を気遣い親切に接してくれ私にとっては姉の様な存在である。昨年の会報ダボス叙勲に浴し謝辞を述べておられた内海辰三さんは彼女の弟さんである。

最後に柳沢一族に少しふれてみたい。萩区を核に十数世帯を擁し、墓所に聳える樹齢数百年に及ぶ一本杉は一族の象徴で、苔むした墓石は一族の歴史でもある。

毎年一回、十一月に行われる「ご先祖祭」には私もご案内を頂き毎年殆ど出させて戴いているが最長老の徳市氏、愛称「トクチャン」は曾て町議会議員を歴任、祭りでは一族を束ね、祭りに出席した私などを笑顔で迎えてくれるありがたい存在である。

東京真田町の会会員で、はるばる静岡県御殿場市より総会に馳せ参じてくれる柳沢喜三郎氏、通称「サブチャン」も一族の一人で、包容力豊かで少年時代からおおくの人に親しまれた人物だ。

今回は数多くの人達にご登場頂いたが、その外にも沢山この様な人達に多くを学び、手を引かれ今日まで過ごさせて頂いた私は唯々感謝の気持でいっぱいである。



農村女性ネットワークさなだの活動から



坂口さなへ（下原出身）

ニューが加われればと、味の研究をしております。

私こと、今年八月末から十日間ドイツとイギリスの農家に民宿して参りました。いま真田町でもグリーンツーリズムを考える会が発足して研究しております。

四方の山々が紅葉し、真田の里も秋の深まりを感じます。烏帽子の峰にもうっすらと白いものが見え、冬の到来も間近のようです。

私たち「農村女性ネットワークさなだ」のメンバーは歴史館隣の真田席でくるとごまのおはぎセットを作り販売しておりますが好評で、東京や遠くは広島など他県の皆さんも見え賞味していただいております。

お屋敷のつつじの花が咲く五月には、燃えるような赤い色が見事で大勢の方々が花見に来られます。又、十月には、真田庵の窓の外のマユミの木にシジユウカラ、コゲラ、ヤマガラ、ジョウビタキなどの野鳥が来ており、こんなに近くから見たのは初めてで、改めて真田の里の良さを実感しました。

甘いおはぎだけでは辛党の皆さんには敬遠されてしまいますので「蕎麦すいとん」のメ

不思議な国

長屋京子（菅平出身）

た一日でした。（ちなみにこの本はテレビ朝日報道出版担当の丸山一昭・岩中祥史共著）

不思議な国……といえ、いつも思うことですが「ふるさと」はとても不思議な世界です。日々電波が宇宙を目まぐるしくかけめぐって、情報が飛び交い、昨日より今日と変わる世の中なのに、そこは四十年を経ているにもかかわらず、いつ訪れても思い出がリピートされています。そして感動もです。

十一月四・五日、思わぬ用事のおかげで菅平へ行きました。途中、角間溪谷に立ち寄り、目にした景観はみごとに紅葉！フト佐助の飛び回っていた溪谷の山肌面に影を重ね、この美しさの中で忍びの鍛錬をしていたものだろうか、と、そして戦国の昔から木立は変わらず芽ぶき、紅葉に変わり、来る年、来る年訪れる人々の心に、自然の美しさを植えつけ続けていることという場所に新たな感動を覚ええました。

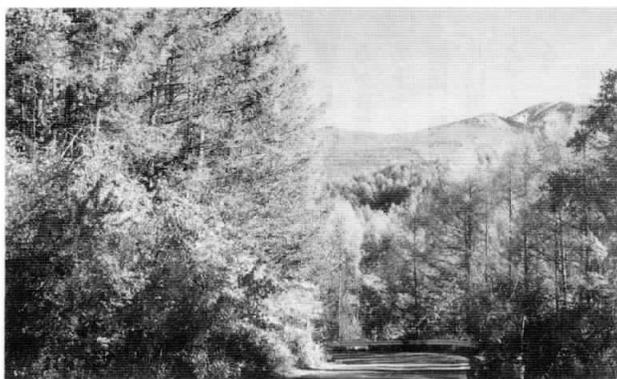
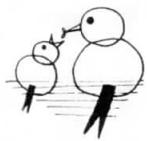
そして、その興奮した気持ちで菅平口から唐沢の滝へと走る車窓から眺める山合は、黄金色のカラ松（私の中では落葉松は

ずっとカタカナのカラ松なんです）、思わず車から降りて「しばし眺むる」の心境。この時期にめぐり逢って感謝しました。どの季節もその時のめぐり逢いは感動！

翌日は、中ノ沢、明神沢を経て十ノ原の裾野を鳥井峠へ抜ける途中のカラ松！ふるさとでこそ目に映る景観！晩秋に日差しを受けて金色に輝くカラ松は、東山魁夷の画と重なる荘厳さと美しさがあるように思えるのです。

そして、それに魅せられていつ迄も佇んでいた気持ち……日差しがカラ松の芯までも照らす、すき透った色合に不思議を覚えつつ……

真田町では、景観にマッチした日本家屋にし、こざっぱりとした部屋で、窓からは美しい真田の山々が眺められる。また、家の周りには実のなる木があり野鳥がやってくる、その宿に通じる小道にはきれいな花が咲いている。そんな民宿にしたい夢を描いています。



近況報告

三井文子 (中組出身)

十月十日は傍陽に丁度帰る予定になってしまったので今回は残念ですが欠席します、又二千年に逢いたいと思います。

菅原節子 (穴沢出身・旧姓西牧)

出席予定でしたが運動会と重なり出席出来なくなりました、次回には是非と思っております。役員の皆様方本当に御苦労さまです。

宮田マキエ (戸沢出身・旧姓柳沢)

十月五日〜十日まで全国老人福祉施設長大会のため沖繩へ出張になり誠に残念ですが欠席します。皆様によりしくお伝えください、又お便りを待っております。

宮下毅士 (真田出身)

あと二二年程で定年になります、最終の勤めに励んでおります。健康の為にジョギングをやっております。

宮本 優 (大日向出身)

今期、妻沼ライオンズクラブ会長を勤めさせてもらっており多忙のため出席できません、皆様によりしく。

川内智恵子 (竹室出身・旧姓高寺)

奄美大島への旅行と重なってしまいました、又の折りに。

大久保あき子 (菅平出身・旧姓川上)

しらかば通信でラジオ体操の事が出ていましたね、私は毎朝テレビの方で体操をして元気でがんばっています。皆様によりしくお伝えください。

大庭今朝女 (大日向出身・旧姓大久保)

当日は山梨県の七面山の方に登山予定のため残念ですが欠席させていただきます。

堀内 幸 (上横道出身)

楽しみにしていましたが兄弟会を田舎で行うため日が重なり欠席させていただきます。

紺野敏子 (横尾出身・旧姓神田)

いつも諸報告を有難うございます、楽しく読ませて頂いております。近々、長男夫婦と共に幸いにも健在な両親 (九〇代) に会いに帰省します。

野間亮子 (横尾出身・旧姓北沢)

残書きびしいこの頃ですが山には秋のたよりがおとずれていきますね、残念ですがまたの機会に参加させていただきます。

山本美江 (下横道出身・旧姓堀内)

過日はふるさと訪問に参加させて頂きありがとうございました。初めてのマレットゴルフも出来てとてもうれしかったです。主人と一緒に出掛けることになり総会を失礼します。

関谷道義 (戸沢出身)

欠席で申し訳ありません。体の方は益々元気でやっております、本年一月喜寿、五月金婚式を迎えました。

柳橋米子 (下横道出身・旧姓内川)

いつもお世話になります、田舎の行事で欠席させて頂きました、今後ともよりしくお願い申し上げます。

坂口正彦 (真田出身)

当日は友人の結婚式が上田であり出席できません、とても残念です宜しく願います。

洪沢芳三 (横尾出身)

歩行不如意ながら元気でおります、今年喜寿になりました皆様によりしく。

清水なか子 (曲尾出身・旧姓海瀬)

ご準備ありがとうございました。久しくご無沙汰を致しました。

が、今年は体調も良くなりましたので皆様にお会いできますことを楽しみに喜んで出席させていただきます。

坂口 豪 (十林寺出身)

私儀前年より足が悪く階段の上り下りも不可能の為私にとって非常に残念乍ら又欠席の外なきに至りましたご了承の程を。

半田幸一 (田中出身)

幹事の皆様御苦労さまです、小生も何とか頑張っております。当日又元気で会い致したく宜しくお願い申し上げます。

中沢欣勇 (下横道出身)

八月三十日に六十回目の誕生日を迎えることが出来ました、益々元気です。今後も第一線で頑張ります。

小坂井やえ子 (曲尾出身・旧姓石巻)

明治座の観劇会ではお世話になりました、九月八日七十歳になりましたこれからは年を取らない事にします。

井上かつよ (田中出身・旧姓堀内)

今年の暑さは格別、会長始め役員の皆様御苦労さまです。お世話になります宜しくお願います。

鈴木民子 (竹室出身・旧姓高寺)

去年は旅行と重なり出席できませんでした。今年は参加します、楽しみにして居ります。

岩崎みち子 (菅平出身・旧姓正木)

今年の暑さはとつても厳しくこたえました。十月になると良い天候になると思いますので頑張ってお出したいと思えます。

内海辰三 (大庭出身)

年をとりましたが元気で暮らしております。今年は都合がつかず欠席させていただきます。ご盛會を祈ります。

堀内 操 (竹室出身・旧姓高寺)

出欠の返事が遅くなり申し訳ありません、今年も皆様にお会いしたく出席させていただきます。

荒木好水 (曲尾出身・旧姓清水)

申し込みの締切が過ぎてしまいました。がよろしく願います。「真田町の会」のますますの発展と役員方のご活躍をお祈りしております。

武捨衛人 (中組出身)

お世話様になります、元気に働いております。
(通信欄より、敬称略、順不同)

平成10年度 決算報告書

自 平成10年4月1日 至 平成11年3月31日 (単位：円)

収入の部			支出の部		
科目	予算	決算	科目	予算	決算
通常年会費	650,000	384,000	総会費	1,500,000	863,912
総会懇親会費	2,000,000	1,036,000	会報発行費	700,000	564,900
真田町補助金	500,000	500,000	事業費	900,000	131,815
広告費	800,000	510,000	事務通信費	500,000	265,425
寄付金等	100,000	10,000	印刷費	400,000	167,700
利息等雑収入	105,289	924	会議費	400,000	261,836
			渉外費	300,000	140,350
			交通費	100,000	12,560
			雑費・手数料	100,000	25,420
			予備費	100,000	-
当期収入合計	4,155,289	2,440,924	当期支出合計		2,433,918
前期繰越額	844,711	844,711	次期繰越額		851,717
合計	5,000,000	3,285,635	合計	5,000,000	3,285,635

上記の通り収支決算報告いたします。 平成11年3月31日 会計 堀内 寿美 ㊟

上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。 監事 関谷 義久 ㊟

監事 飯嶋 義道 ㊟

平成11年度事業計画

- (1) 第12回総会及び懇親会の開催 (平成11年10月10日)
- (2) 会報「日本ダボス」第12号の発行
- (3) 会員向け広報紙 (名称「しらかば通信」) の発行
- (4) ふるさと訪問の実施
- (5) ふるさと特産品の宅配協力
- (6) 真田町との交流促進のため、各種文化行事の実施と参加
- (7) その他

平成11年度 収支予算

自 平成11年4月1日
至 平成12年3月31日

「東京真田町の会」役員名

職名	氏名
顧問	小林 孝夫 清水 清晴
会長	三井 芳郎
副会長	荒木 孝一 塩沢 和政 中島 正江
事務局	事務局長 山口 元彦
	会計 堀内 寿美
理事	監事 関谷 義久 飯嶋 義道
	飯島慶三郎 鈴木 邦子 岩井 泰子
	大久保治夫 萩原 啓治 小林 正子
	柴田小夜子 滝沢 叔 塚田 恒雄
	深町 共栄 堀内 福

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
通常年会費	650,000	総会懇親会費	1,500,000
総会懇親会費	2,000,000	会報発行費	700,000
真田町補助金	500,000	事業費	900,000
広告費	800,000	事務通信費	500,000
寄付金等	100,000	印刷費	400,000
利息等雑収入	98,283	会議費	400,000
		渉外費	300,000
		交通費	100,000
		雑費・手数料	100,000
当期収入合計	4,148,283	予備費	100,000
前年繰越額	851,717		
収入合計	5,000,000	支出合計	5,000,000

平成十一年度、左記の皆様よりご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。

木島 豊禧様 五万円
飯嶋 義道様 一万円
洪沢 晴子様 一万円
(故洪沢孝輔氏夫人)

寄付御礼

総会にご欠席の方で平成十一年度の年会費千円を未納の方は同封の郵便振替用紙にてお振込みをお願いします。振込料は無料です。よろしく申し上げます。

年会費納入のお願い

日本ダボス第十二号の発行にあたり広告をお願いしましたところ多数の皆様のお申し込みをいただき有難うございました。厚く御礼を申し上げます。

広告御礼

平成十二年の総会・懇親会は十月二十二日(日)、アルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催されます。今から予定に入れておいて下さい、そして友人、知人をお誘い下され大勢ご出席賜りますようお願いいたします。追って八月頃にご案内いたします。

次回総会の予告

～ 会員消息 ～ (敬称略)

〈新入会員〉

- 荒木 好水 (清水) 〒190-0001 立川市若葉町4-25-1 若葉団地28-103 (曲尾)
 大久保正寿 〒359-1145 所沢市大字山口888-14 山口団地6-406 TEL 042-923-4423 (大日向)
 大久保輝義 〒194-0032 町田市藤の台2-36-302 TEL 0272-28-6335 (大日向)
 荻原 浩 〒157-0065 世田谷区上祖師谷3-23-3 TEL 03-3309-5508 (穴沢)
 小平 京子 (坂口) 〒183-0052 府中市新町1-53-12 TEL 042-365-4412 (下横道)
 斉藤紀久子 (清水) 〒210-0844 川崎市川崎区渡田新田3-10-18 TEL 044-333-9337 (曲尾)
 坂口 英一 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町179-3 TEL 045-473-0529 (真田)
 山本 香織 (合葉) 〒166-0001 杉並区阿佐谷北2-15-6 スターク阿佐谷301 TEL 03-3330-7843 (下原)

〈住所変更と訂正〉

- 海瀬 孟 〒350-1109 川崎市霞が関北6-4-3 TEL 0492-31-9650 (曲尾)
 倉嶋 守 〒121-0053 足立区佐野2-23-10 TEL 03-5682-0458 (上原)
 小市 則夫 〒112-0012 文京区大塚3-35-14-303 ベルメゾン小石川植物園 TEL 03-3944-1240 (荒井)
 小山 邦子 〒246-0038 横浜市瀬谷区宮沢1-50-10
 酒井まさ子 (久保) 〒234-0039 厚木市温水西1-22-24 TEL 0462-48-4352 (横沢)
 鈴木 邦子 〒174-0052 板橋区蓮沼町17-12 TEL 03-5970-6969 (横尾)
 鳴海千夜子 (高寺) 〒121-0831 足立区舎人3-9-14 TEL 03-3857-6911 (竹室)
 野間 亮子 (北沢) 〒350-0823 川崎市神明町41-2-102 TEL 0492-26-5971 (横道)
 広沢 栄子 〒187-0035 小平市小川西町2丁目2-2-507 TEL 0423-43-1853 (小玉上郷沢)
 山本 俊雄 (塩沢) 〒199-0102 神奈川県津久井郡相模湖町与瀬本町16 TEL 0426-84-2201 (大日向)

〈退会者〉

大内和枝・久保今朝茂・小幡ゆき子・佐藤けさか・佐々木節子
 塩谷智恵子・田中稔治・田中芳明・丸山もと子・南沢永子
 宮島義邦・若林アエ子・若林一幸

〈物故者〉

心よりご冥福をお祈り致します。
 雨宮禮子・石巻輝美・内海 清
 木島久雄・堀内敬市・柳沢多喜雄

退任理事 田中 恒夫様 長い間ご苦勞様でした。

FAX TEL
 ○三―三八一五―三三四四
 ○三―三八一五―三三四四
 山 口 元 彦
 新お茶の水法律事務所内
 湯浅ビル五階
 東京都文京区本郷二―十三―十
 〒一―三―〇〇三三三

新会員募集のお願い

真田町出身者で当会に入会されてない方がお知り合いにいらっしゃいましたら、是非お誘い頂きたくお願いいたします。ご連絡はもよりの幹事または事務局までお願いいたします。

東京都八王子市松が谷
 二五―一―一〇三
 大久保治夫
 〒一九二―〇三五四
 いずれも左記編集部宛にお送り下さい。

原稿の募集のお願い

日本ダボスとしらかば通信の原稿を募集しています。思い出や感想、紀行文、情報などなんでも結構です。

☆日本ダボスは四百字―五百字まで枚数は自由です。原稿締切は平成十二年九月末。

☆しらかば通信は四百字―八百字まで、原稿締切三月中旬又は七月末の二度です。

編集後記

今年の表紙の写真もお寺さんになった。十一号迄に傍陽地区のものが一度もなかったの、三井会長に相談したところ「実相院」が良いのではとアドバイスをいただき、八月の「ふるさと訪問」の時に撮影した。

一回目の編集会議でその中より選定されたが、秋の色合はどんなものになるかと想像しながら、情報政策課の柳沢正明主査にお願いして撮っていただいたところ想像どおりの写真が届いた。即決定、ご覧のような立派な表紙となりました。柳沢さん有難うございました。

今回も大勢の皆様から素晴らしい原稿を寄せていただきました、心より厚くお礼申し上げます。

当初考えていた構成とはならなかったがまとめてみました。お気付きな点、ご意見がございましたらお知らせ下さいませうお願いいたします。

写真提供

真田町
 信州真田六文銭太鼓保存会
 大久保治夫・小林孝雄
 中島正江・長屋京子

祝 東京真田町の会 一会報12号一

株東京マネジメント・コンサルタンツ

〒231-0021 横浜市中区日本大通18 KRCビル
(大棧橋通り)
TEL 045(662)1201 FAX 045(662)1414

日本では高齢化社会の到来が、世界に前例のない速さで進行しています。このため国民の保健衛生に関する施策と病院・診療所の経営が激しい変革の並にさらされています。こうした状況の中で、当社はお医者さんが不安なく診療に専念できるよう、病医院の経営面をサポートするため、首都圏全域にわたりコンサルティング活動を行っています。

(所属グループ)

社団法人日本医業経営コンサルタント協会
神奈川支部支部長

税理士と公認会計士の組織TKC神奈川会

パートナー制による税理士等の事務所代表パートナー

関谷 義久 (戸沢出身)

自宅 〒211-0063 川崎市中原区
小杉町1-403-4 パロス 103
TEL 044(711)0055

株TKC東京パートナー会計事務所

〒211-0063 川崎市中原区小杉町1-403
武蔵小杉STMビル(武蔵小杉駅正面)
TEL 044(733)1101 FAX 044(733)1102

世界各国の政治経済動向が私達の生活に直接影響を及ぼすまでに経済はグローバル化しています。激変する新時代到来で、当事務所は世界に通用するパートナーシップ体制を構築すべく広範に活動を開始しています。また中小企業の基盤強化と経営発展に貢献することを信条として活動しています。

横浜事務所

川崎事務所



貿易と国際物流のコンサルタント

貿易物流研究所

所長 **小林 孝雄** (曲尾出身)
(東京真田町の会 顧問)

〒234-0051 横浜市港南区日野 4-45-5
TEL : (045) 843-8041
FAX : (045) 843-8041

祝 東京真田町の会 一会報12号一

人と地球に思いやりある環境づくりを目指して
資源愛護と環境保全は企業の責任

一般貨物運送事業、リサイクル推進事業、一般・産業廃棄物処理業
電気自動車 メタノール自動車 CNGトラック

平成9年度東京都環境賞 受賞・東京都知事賞 受賞

みすゞ興業株式会社

代表取締役 荒木 廣之 (真田町下原出身)

〒174-0041 東京都板橋区舟渡 2-10-7 TEL 03 (3966) 2422

自宅 TEL 03 (3965) 4692

東北自動車道・二本松インターより20分 (福島県)

感動のドラマはここから始まる。

岩代・小浜城ゴルフ倶楽部

代表電話：0243 - 55 - 3300

予約専用電話：0120 - 01 - 1846

ホテル ファインブルグ

代表電話：0243 - 55 - 3311

代表取締役 飯島 慶三郎 (下原出身)

東京真田町の会 理事

ワシントンポスト紙 (USA) 広告代表

メディア (Hong Kong) 広告代表

株式会社 エム エム アイ

代表取締役 三井 芳郎 (大庭出身)

東京真田町の会 会長

自宅：156-0055 東京都世田谷区船橋 1-48-31 TEL03-3482-9333

事務所：103-0026 東京都中央区日本橋兜町 19-8 八重洲 KH ビル (7F)

TEL 03-3664-0369 FAX 03-3664-6063

祝 東京真田町の会 一会報12号

<p>火災・生命保険・傷害・自動車保険代理店</p> <p>堀内寅次 (中横道出身)</p> <p>〒330-0825 大宮市東新井九三九一六四 TEL ○四八二六八五二二 TEL ○四八二六八五二二 FAX ○四八二六八七一九二二</p>	<p>株式会社東部財務情報センター 堀内税務会計事務所</p> <p>堀内茂雄 (中横道出身)</p> <p>〒130-0002 東京都墨田区業平四一九一三 TEL ○三三三六二五二二 TEL ○三三三六二五二二 FAX ○三三三六二二一〇</p>	<p>東京真田町の会理事</p> <p>司法書士 堀内寿美 (上横道出身)</p> <p>〒151-0053 東京都渋谷区代々木二丁目一〇一九 東洋ビル四〇二号 TEL ○三三三七九一九二</p>	<p>埼玉工業大学 工学部電子工学科教授 東京真田町の会 理事 深町共榮 (田中出身)</p> <p>〒366-0052 深谷市上柴町西五七七八二 TEL ○四八二五七二七五〇</p>	<p>(株)アップルサイエンス (コンピュータ関連) 代表取締役社長 山岸 栄</p> <p>本社 真田町 傍陽 五〇八五 営業所 埼玉県入間郡毛呂山町川角二〇九六 電話 ○四九二一七九一三</p>
<p>東京真田町の会 理事 堀内 福 (下横道出身)</p> <p>〒350-1308 埼玉県狭山市中央三二七二二〇三 TEL ○四二九一五八一五七八</p>	<p>御殿場市・裾野市・小山市 長野県人会 顧問 柳澤 喜三郎 (萩出身)</p> <p>〒412-0045 静岡県御殿場市川島田七四八二二 TEL ○五五〇一八三〇〇八一</p>	<p>東京真田町の会 理事 小林 正子 (下横道出身)</p> <p>〒349-0217 埼玉県南埼玉郡白岡町小久喜七七六一十一 TEL ○四八〇一九二二一〇八四</p>	<p>新お茶の水法律事務所 弁護士 山口 元彦 (横沢出身)</p> <p>〒113-0033 東京都文京区本郷二一三三十一十 湯浅ビル五階 TEL ○三三三八一五三三四(代表) FAX ○三三三八一五三三四</p>	<p>国画水墨院理事 日本選抜美術家協会評議員 画家 森本 幹生 (入軽井沢出身)</p> <p>〒211-0062 川崎市中原区小杉陣屋町一六八 TEL ○四四一七三三〇二六七</p>

坂上田村麿、蛙合戦、真田城跡…。数々の伝説を育んだ **新しく 墓地完成しました。**
故郷の名刹 実相院に 50区画

高速道路・新幹線の完成により、都会とふるりの距離は大幅に短縮されました。この機会に、郷里で建墓、御先祖供養と御家族の安らぎを考えてみませんか。
墓地分譲・墓石建立はもとより、新規御入壇のお世話、一代墓、清掃・管理作業まで、実相院様のご指導のもと、誠心誠意ご相談に応じさせていただきます。



お気軽にご相談下さい。

信濃苑

長野県上田市住吉 121-8
TEL・FAX 0268-25-6017



寄付のお礼

平成十年度総会の際、ご寄付をいただきました事心よりお礼申し上げます。

おかげさまで素晴らしい太鼓を購入することができました。

現在、戦国の武将真田氏をテーマにした「真田組曲」を創作、日々練習に励んでおります。

信州真田六文銭太鼓保存会

真田温泉健康ランド ふれあいさなだ館

長野県小県郡真田町大字長7369-1 TEL.0268(72)2500 有線 2230



育ててください

ふるさと結ぶホットラインに

*ふるさと宅急便

*特産物の開発・販売



長野県小県郡真田町大字長七二七八番地の一
財団法人 真田町振興公社

TEL 〇二六八七二二二〇〇
内線 二六二



勝田電設工業株式会社

電気設備工事設計施工

代表取締役会長 塩 沢 和 政 (大日向出身)

東京真田町の会 副会長

本 社 〒132-0032 東京都江戸川区西小松川町 37 番 2 号
TEL・03(3652)8676 FAX・03(3656)3360
東京支店 〒132-0032 東京都江戸川区西小松川町 37 番 2 号
TEL・03(3652)8679 FAX・03(3655)8328
千葉支店 〒273-0002 千葉県船橋市東船橋 3 丁目 39 番 16 号
TEL・047(423)1755 FAX・047(423)0092

茨城支店 〒305-0062 茨城県つくば市大字赤塚 610 番 3
TEL・0298(36)4737 FAX・0298(36)4549
銀座営業所 〒104-0061 東京都中央区銀座 1 丁目 3 番 3 号伊東ビル 6F
TEL・03(3561)5822 FAX・03(3561)5832
木更津営業所 〒299-0231 千葉県袖ヶ浦市下泉字勝下 20-2
TEL・0438(75)6600 FAX・0438(75)6914

日本ダボス (平成 11 年 12 月 25 日発行)

発行 東京真田町の会 会長 三井 芳 郎

〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1-48-31 TEL・FAX 03-3482-9333

編集委員 大久保 治 夫 中 島 正 江 柴 田 小 夜 子

印刷 上市市・(有)中沢活版所